

食と健康の

多方面からの、ご意見、知見、参画を募集します。

新たな市場の創造を目指して

日本ヘルスケア協会 産業協議会 流通部会の活動

「食と健康」の新しい市場の創造を目指した取り組み

日本ヘルスケア協会産業協議会・流通部会（以下、流通部会）では「国民の健康寿命延伸とヘルスケア産業の育成に向け、流通の立場から貢献する」ことを目的の一つに掲げています。その観点から、日常生活とヘルスケアを結ぶ重要な接点である「食と健康」の領域に着目し、その食品群を分類する考え方の整理に取り組んでいます。

「食と健康」のマーケットは、まだまだ多くの可能性を持っています。流通部会では「食を通じた健康改善」を求める様々な生活者ニーズに応え、そこからの新たな市場創造に向けて、食品の健康機能を生活者に分かりやすく可視化する為の流通向けの食品分類の再整備を進めております。

今後は、さらに実務への応用・普及を進めるための、ガイドラインの策定を予定しております。

日本ヘルスケア協会・日本チェーン・ラックストア協会の実証実験 ～「健康」を主とした新しい売場の創造

「食べることから健康を考えよう」をテーマに、神奈川県内のドラッグ2店舗にて、2017年11月より、実際の売場で再現（実証実験）を行われました。実証実験の結果、各カテゴリーにて売上増となり、特に介護食関連では、大幅なアップとなりました。この実験は、今後も継続して実施される予定です。



カテゴリーは「今後の成長が期待できるカテゴリー」として、以下の3つを選定した。

- 機能性表示食品
- スマイルケア食品（介護）
- プロテイン



「食と健康」実証実験として小売・卸・メーカーが、中心となって実際の売場を作成した。

お悩み別に陳列することにより、消費者の選択の幅が広がった。



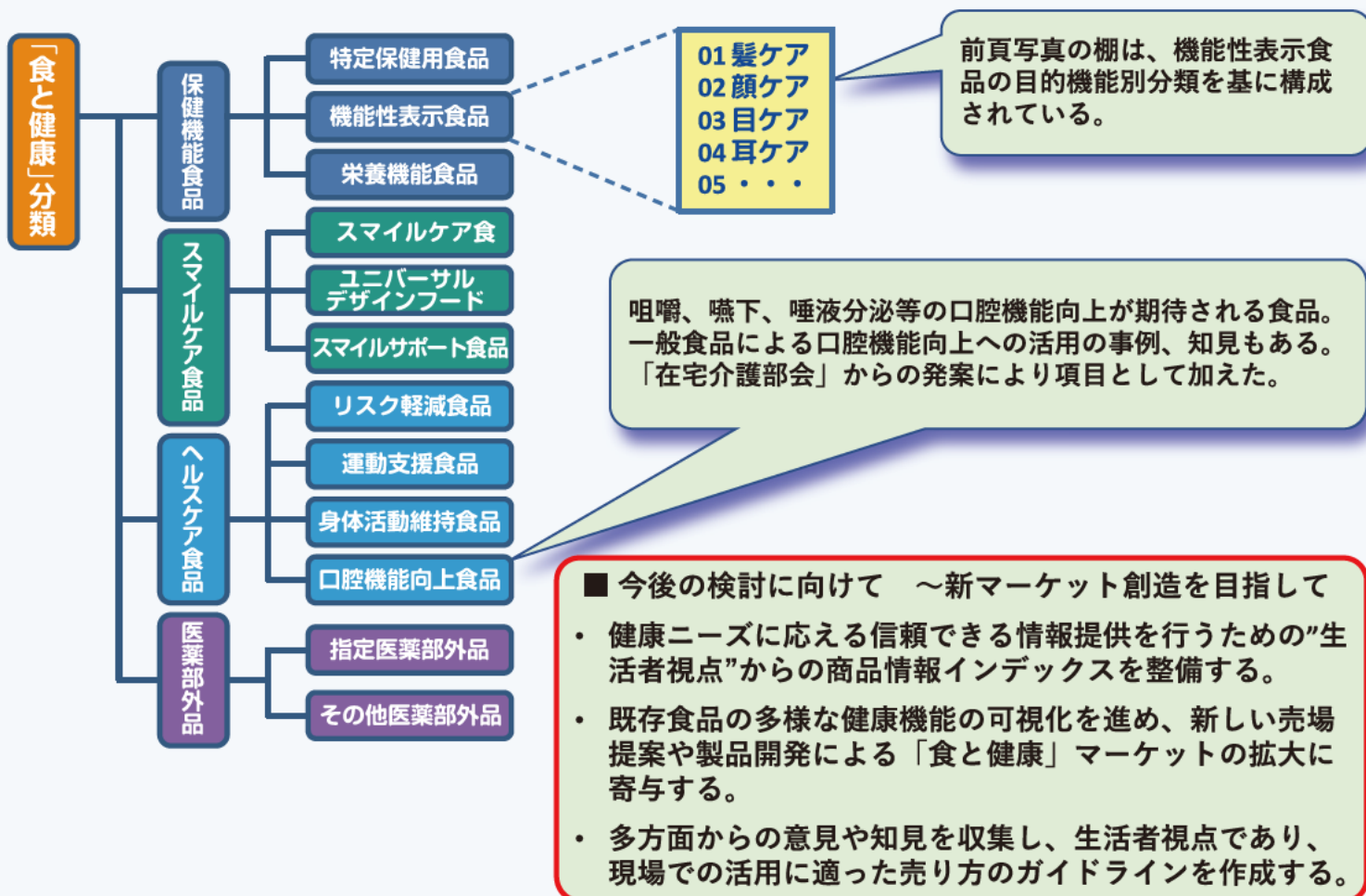
● 機能性表示食品の棚
2015年から始まり、今、最も市場が急成長しているカテゴリー。



この棚は、食と健康研究会の「食と健康の新分類」を基としています。流通部会ではこの新分類の流通視点での整理を行っています。（裏面参照）

生活者の「食品を通じた健康改善」に寄与し、新しい市場の創造を目指した、これからの食品の売り方を考える。

日本ヘルスケア学会「食と健康研究会」でまとめられた“食と健康新分類”を基に、より流通の視点からの考察を進めています。(30年1月時点での検討案。一部抜粋)



流通部会は、食品の健康機能の整理と可視化により、新カテゴリーの創造を目指します。

流通部会の新市場創造への取り組みへのご参加、ご協力をお待ちしております。
また、知見、事例、ご意見につきましても、広く募集しております。

以下のURL（日本ヘルスケア協会・流通部会HP）の入力フォームよりご連絡下さい。

https://www.jahi.jp/archives/sectional_meeting/sec11012

●メールでもご連絡下さい。下記参照、事務局担当 宮崎迄。



〔 日本ヘルスケア協会 産業協議会 流通部会 〕

部会長
副部会長
委員・オブザーバー

玉生 弘昌
加藤 弘貴
加藤 弘之
古林 紀彦
佐々木 誠
清水 政弘
田中 貴浩
外山 有
橋本 佳往
山田 啓藏

一般社団法人 流通問題研究協会 会長
公益財団法人 流通経済研究所 専務理事
公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員
株式会社アンテリオ リサーチディレクター
国分グループ本社株式会社 ヘルスケア統括部事業推進課長
ドラッグストアMD研究会 副会長
株式会社インテージテクノスフィア 商品情報部
株式会社インテージテクノスフィア 統括マネージャー
一般社団法人 流通問題研究協会 専務理事
一般社団法人 流通問題研究協会 理事 (委員・オブザーバー50音順)

一般社団法人日本ヘルスケア協会産業協議会・流通部会
事務局担当・宮崎 E-mail: ryuutuu@jahi.jp